

## 「第5次久米南町振興計画 素案」に対する町民意見等の募集結果について

平成23年12月21日から平成24年1月20日までの間、「第5次久米南町振興計画 素案」について、久米南町パブリックコメント実施要綱により御意見を募集したところ、次の27件が寄せられました。これらの御意見等に対する町の考え方を記載しておりますので御覧ください。貴重な御意見ありがとうございました。

### 計画全般

	項目	意見の要旨	町の考え方
1	全般	久米南町には、すばらしい人的資源があることを強調すべきである。	
2	全般	地域の課題に対し、行政・地域・個人で何ができるか、町民の目線から協働を進める方向性を打ち出していることは大きな意義がある。町民が意見を出しやすく、町民と行政が協力しやすい環境を作って欲しい。	アンケートやワークショップでもあげられているように久米南町には、すばらしい人的・文化的資源があります。計画には町民の参画や官民の協働、また、文化振興を主要施策にあげ、現存する資源を活かす政策を推進していきます。
3	全般	久米南町は文化面で協働によるまちづくりをした実績があるので、農業・産業、危機管理、住環境にもその経験を活かしていくべきである。	
4	全般	内部だけではなく、外部からまちづくりの専門家等を招き、刺激し合う学びの場を行政から提供して欲しい。	今回の振興計画の策定にあたり、広く専門的な意見を取り入れるため、大学関係者やまちづくりを専門に行っているNPO法人の協力を得ました。
5	全般	もっと創意工夫ある計画とするため、有識者や希望者を募って、具現性のある計画にして欲しい。	今後も計画等の策定にあたっては、広域的なネットワークを活用するとともに、町民が参加できる体制を整え、協働によるまちづくりを推進していきます。

6	全般	ほとんどの項目で「積極的に努める、支援する」といった表現であり、責任の所在が曖昧であるので、何をどのようにするのか表現して欲しい。	
7	全般	抽象的な表現が目立ち具体的にどのような方法・施策が用いられるのか理解しがたい。	振興計画は、これからのまちづくりについて、広く施策を取りまとめた大きな方向性を描く計画ですので、表現につきましては概念的なものとなりますことをご理解、ご了承ください。 なお、具体的な事務事業につきましては、振興計画の各施策の方針を基に部門別計画の中で検討および位置付けを行ってまいります。
8	全般	多くのことをやっていることはわかりましたが、今後はまず何を重点的にやろうとしているのか見えません。	
9	全般	目標値等が示されているが、目標数値の根拠が不明瞭である。	
10	全般	計画は立てているが、検証、反省の時期が示されていないので「絵に描いた餅」になるのではないかと懸念。	振興計画は、基本構想と基本計画に分かれています。総合的な指針となる基本構想については10年後を目標年次としています。また、分野の施策等を示した基本計画については5年ごとに前期と後期に分け、前期の目標年次には社会情勢や経済情勢の変化に柔軟に対応できるように検証や見直しを行います。
11	全般	情報量が多すぎるので全部読めない。概要版があったほうが良い。	パブリックコメントについては素案全文の公開で情報量が多く読みづらいものとなり申し訳ありませんでした。今後は皆様にわかりやすいように計画の概要版の作成を検討いたします。

## 第1章 総論

	項目	意見の要旨	町の考え方
12	町民意識 ワークショップ	ワークショップはまちづくりの基本的な手法であるので、環境(拠点の整備等)を整え、課題別(観光・農業・文化等)でも活用し、続けて行って欲しい。	ワークショップの導入は協働のまちづくりを行う上で必要です。今後も各分野で活用していきたいと考えます。

## 第2章 基本構想

	項目	意見の要旨	町の考え方
13	まちの将来像 1将来人口	将来人口については、5,300人の維持は可能である。定住施策等しっかり考え、実行してもらいたい。	ご意見のとおり、定住促進による人口の維持は今後の久米南町にとって大きな課題になります。今後はU・Iターン者の受入をはじめ、子育て環境の整備など様々な施策により定住促進に努め、人口の維持を図っていきます。

## 第3章 基本計画

	項目	意見の要旨	町の考え方
14	- 2(1)定住促進	働く場がない 空き家が耐震構造になってない 農業を始めるとき農業機械がない。この3点が定住しにくい理由だと思う。	ご意見のとおり、仕事・住居・就農は定住促進を図る上で重要な要素です。 町では本年から定住促進本部を開設し、久米南町への定住に関する相談とサポートを行っています。また、空き家バンクや空き家改修補助制度により空き家の有効利用にも取り組んでいます。就農については岡山県と協力し、新規就農者支援を行っています。
15	- 2(2)観光振興	カッピーストラップやハスパーガーを道の駅等で売ってはどうか。	久米南町の良さを内外問わず、多くの人に知ってもらうため、カッピーやハスパーガー、キュウリ、ユズなどの特産品を有効に活用し、道の駅を拠点に、町のPR活動を積極的に行っていきます。
16	- 2(2)観光振興	キュウリなどの特産品を使った名物づくりをしてはどうか。	また、ハスパーガーなど地域発信の活動については、町で支援し、協働によるまちづくりを推進していきます。
17	全般	「潤いのまち」とあるが、文面には「潤いのまち」という表現が出てこない。	では生活環境の整備を主に取り上げていますが、「潤いのまち」という表現も若干わかりにくいものであったように思います。再度検討し、施策にあった表現(例えば「憩いのまち」など)を検討します。
18	- 3(3)公共交通	公共交通についてはJRとの協力体制を強調すべきである。	久米南町には南北にJR津山線がとおり、駅も町内に3つあるなど、交通の便では比較的恵まれています。当然JRとの協力体制は必然であり、駅の整備も含め協力体制を強化していきます。

19	- 2(2)地域医療	福渡病院の現状を把握し、福渡病院の立ち位置を明確にして欲しい。	福渡病院は地域医療の中心的役割を担う公立病院としての役割の他、救急告知病院(救急搬送する医療機関)としての役割を担っています。また、急速な高齢化が進む中、在宅訪問診療及び訪問介護ステーション、通所リハビリテーションを実施し、地域住民の健康保持に必要な医療を提供しています。今後も地域医療体制の構築に努めていきたいと考えています。
20	- 1(1)農業	国との連携について明記されていないが、国との関係は重要である。	ご意見のとおり、農業の振興については、国や県、市町村、農業委員会、農協等の関係機関が一体となり、それぞれの役割分担のもと、取り組みを強化することが重要です。
21	- 1(1)農業	農協との連携を重要視するべきである。	国や県等の補助制度の一層の普及推進、積極的な活用を行い、農業者の安定的な経営や発展を目指し、意欲的な生産を推進します。
22	- 1(2)林業	20年前と書いてあることが変わっていない。林業の現状を見て欲しい。	小規模な森林所有者が多い本町で、林家個人で作業を計画的実施することは現状困難であり、林業の振興のためには、合理的な経営を目指し、施業の共同化を推進します。また、地球温暖化の防止や自然災害への影響も考慮しつつ、適正な森林施業の実施や森林の保全により森林資源の維持造成に努めていきます。
23	- 1(2)林業	森林組合のみ明記してあるが、他の事業者も含める必要があるのではないか。	
24	1(1)学校教育	教職員の資質向上について記されているが、町の取組としては問題が大きいのではないか。	町教育委員会では、平成22年度から「久米南町教育振興基本計画」に基づき、人づくりによる町づくりを推進しています。教職員の資質向上については、現在、県や学校と連携し、町主催の研修のほか、県や学校単位での研修も行っています。町も教職員の資質向上に向けた取り組みの一端を担っていくものご理解ください。

25	- 1(1)協働のまちづくり	協働のまちづくりにはNPOの協力が 必要である。	町民主体によるまちづくりには分野 に特化したNPO法人の協力が必要 となります。外部のNPO法人と協力 し、先進的な考え方を取り入れると ともに、町内団体のNPO法人化の支 援も行い、協働のまちづくりを推進し ていきます。
26	- 2(1)公聴広報	IP告知放送の普及率はなぜ早急に 100%としないのか。	町としては全戸への設置を目指して いますが、全戸への設置に至って いません。これからは、多くの方が加入 を希望されるよう、魅力ある放送内容 を検討するほか、積極的な啓発に努 め、普及率の向上を図ります。
27	- 2(3)行財政改革	町長や役場に対するパブリックコメン トHP等を早急に開設して欲しい。	本年度からパブリックコメント制度を はじめ、町が作成する主要な計画に ついては、素案段階で公表していま す。それに伴い、町ホームページに ついて見直しを行い、より皆様から のご意見をいただきやすい環境を整 備します。